

最強の投資手法「スパンモデル」「スーパーボリンジャー」によるシンプルトレード

ドル円、ユーロドル、ユーロ円、豪ドル円、ポンド円に関して、今後 1 週間程度の相場予測として、「日足スーパーボリンジャー」と「週足スーパーボリンジャー」に限定した、簡単な分析・解説を掲載します。

日足や週足のスーパーボリンジャーは、主に、デイトレード・スイングトレードの大局観の把握や、ポジショントレードの売買判断に用います。分析は、全て、先週末 11 月 24 日終値時点での判断です。内容は、私の有料情報サービスからの一部抜粋です。(尚、本レポートでは、スパンモデルに関するレポートは省略している点、ご了承ください)

さらなる詳細分析やその他の通貨ペアの分析・解説(リアルタイム動画解説を含む)は、こちらをお勧めします。「マーフィーの有料メルマガ&掲示板」 <http://www.eagle-fly.com/mur/>

■ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=本格下落トレンド

○遅行スパン(基調トレンド方向)=陰転しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略=終値が-1のラインの下方を推移するかぎり、本格下落トレンドと判断。バンド幅が拡大傾向にあり、トレンド性が強まっていることが見てとれる。尚、今後、終値が、同ラインの上方で引けると、調整の戻り上昇局面入りする可能性が高まる。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン(基調トレンド方向)=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、+1のラインと-1のラインの間でのレンジ相場と判断。

■ユーロドル

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=本格上昇トレンド

○遅行スパン(基調トレンド方向)=陽転しており、買い優勢

○トレンド判断と戦略=終値が+1のラインの上方を推移し続け、バンド幅が拡大傾向となるかぎり、本格上昇トレンドと判断。一方、同ラインの下方で引けると、調整の反落局面入りする可能性が高まる。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=緩やかな上昇トレンド、調整の反落局面

○遅行スパン(基調トレンド方向)=陽転継続しており、基調としては、買い優勢

○トレンド判断と戦略=週足終値がセンターラインの上方を推移するかぎり、緩やかな上昇トレンドと判断。一方、調整反落局面継続のシナリオは存続とも読む。すなわち、+1のラインから+2のラインのゾーンは、一旦は戻り売りのチャンスと読む。

■ユーロ円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン(基調トレンド方向)=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、+2のラインとセンターラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=緩やかな上昇トレンド、調整の反落局面

○遅行スパン(基調トレンド方向)=陽転継続しており、基調として、買い優勢

○トレンド判断と戦略=週足終値がセンターラインの上方を推移するかぎり、緩やかな上昇トレンドと判断。一方、依然として、調整の反落局面の中にあるとも読める。

■豪ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=本格下落トレンド継続中

○遅行スパン(基調トレンド方向)=陰転継続しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略=終値が-1のラインの下方を推移するかぎり、本格下落トレンドと判断。一

方、終値が同ラインの上方で引けると、調整の戻り上昇局面入りする可能性が高まる。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=本格下落トレンド入りの兆候続く、ブル・ベアの分岐点

○遅行スパン(基調トレンド方向)=陰転するかどうかの瀬戸際

○トレンド判断と戦略=今後、遅行スパンが陰転し、終値が-1ラインの下方を推移し続け、バンド幅が拡大傾向に転じると、本格下落トレンド入りする可能性が高まると判断。

■ポンド円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=レンジ相場、ブル・ベアの分岐点

○遅行スパン(基調トレンド方向)=陰転しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、センターラインと-2ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。相場の放れを待ちたい場面でもある。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン(基調トレンド方向)=陽転継続しており、基調として、買い優勢

○トレンド判断と戦略=目先、+1のラインとセンターラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

■「マーフィー無料FX講座」のお知らせ

<http://www.span-model.com/ji/>

短期間でエッセンスを学べる無料コースとなっておりますので、ぜひお試しください。

■「無料メルマガ」のお知らせ

<http://www.span-model.com/mailmaga.html>

相場と友達になる手法を無料レポートで公開中です。

以上です。